

真鶴 自治会だより

皆、皆が住みよい町に



特別委員会 報告（中間報告）

自治会だより、自治会ホームページでお知らせしています特別委員会（キーワード：「会員の加入促進」「活動の見える化」）では、今年度「環境美化（ゴミ）」に取り組んできました。

まず、実態を知ることから始めました。収集前のごみの集積所13か所を回りました。ゴミボックス、ネットをかける、玄関先に出す、ポリバケツ等に入れ

玄関先に出すなどが分かりました。特にマナーが悪い箇所は、役場近くと診療所前でした。

2か所に共通する点は、周辺の人以外・通りすがりにごみを出す人がいるということです。隣組等でゴミボックスを設置しているところでも見られるようです。他にも

早朝に出す、ネットの中にきちんと入れないためガラスの被害にあうなども見られました。

どうしてそうなるのか？特別委員会で協議しました。

マナーやルールを守ることはもちろん

ですが、周知徹底する以外に対策を考えました。

①周知させるためのキャンペーンを行う。

②特にマナーが乱れている集積所には、看板を出す。*パトロールを行う

*生ごみ処理器の使用を推進する↓町の助成金制度あり。効果などを町報で知らせる。

*土のない所でも使用できるコンパクトな生ごみ処理器（「キエーロ」など）もある。（使用している人の話では、生ごみの量が減った）

*ゴミ出しが困難な人のための、まなづの協力隊「まなサポ」の活用を知らせる。

*自治会ホームページで、随時啓発・発信する。

②連携した取り組みを行う。

*町報10月号と連携して行う。

*後期成人学級で環境問題を取り上げる。

*老人会・ゆめクラブや真鶴未来塾まちこ等、発信協力できる輪を広げる。

〈今後の取り組み〉

この問題は、一朝一夕に解決するとは思いませんが、町民のマナー向上のため、美しい町・真鶴にするため、常に、実態や情報を収集し、自治会として啓発活動に取り組んでいきます。また、高齢者のごみ出し、階段の多い所のごみ出しなどの課題もあります。皆様と知恵を出し合い解決していきたいと思えます。ご協力をお願いします。さらには、海の環境美化にも取り組んでいきましょう。

（青木友晴）



関東大震災100年目に考える

寄稿

「防災、備える」②

防災士 岩本 克美

前号の「自治会だより」からの続きです。

『自分』はどのように備えるか、まずは自分の身の回りの事だけを考えてみませんか。

もし、関東大震災と同規模の地震が発生した場合で、家の中にいた時に地震が発生したと想定してみましよう。

地震発生が昼間なのか、それとも夜なのか？ 両方を想定しながら、次の状況を考えてみましょう。

- 家具が倒れたり、テレビや冷蔵庫が横倒しになる心配はありませんか？……
- 棚上の品物が落下したり、食器類が散らばって割れたりしませんか？……
- 割れたガラスで足に怪我を負うという心配はありませんか？……

家具類が、あなたにとって凶器となることがあります。できる限り家具は固定して、ご自身が家具に押しつぶされるようなことが無いようにしましょう。もしご自身で固定する細工が難しい様なら、ご近所どうしで協力しあいましょう。

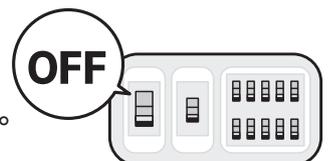
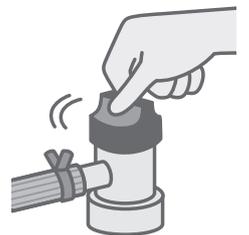
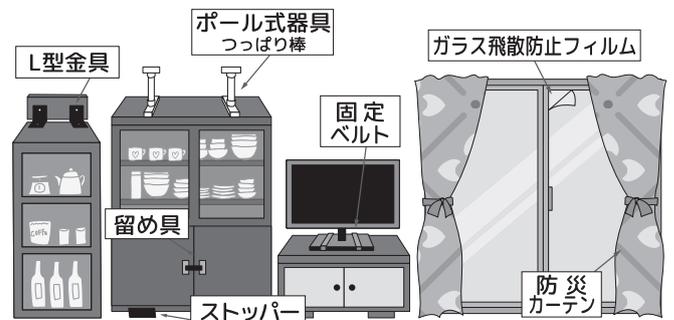
- 家が傾いて、身動きできない、脱出できないなんてことにならないでしょうか？ 如何でしょう。
- 地震発生が夜だったとしたら、停電を覚悟しなければなりません。真っ暗で何も見えない状況が考えられます。東日本大震災は昼間でした。でも、夜は停電で真っ暗、何も見えず不安な夜を数日過ごしたと、気仙沼の方に伺っております、被災者どうしで励ましあって乗り切ったそうです。

さて、何とか身の安全は確保できた。町の指定避難所に行きますか？ それとも……

- 指定避難所に持参すべき手荷物、特にご自身にとって欠かせない物品類はまとめてありますか、常備薬だけでなくお薬手帳も、万一不足するような場合に役立ちます。また、ガス元栓とブレーカーを落とすのも忘れないでください。
- 避難所までの道のりは決まっていますか？ もし、その道路が崖崩れや家屋の倒壊で通行できない様な場合に、別の道路を選ぶ必要があるかもしれません。想定しておきましょう。

無事にたどり着くことが出来なければ、避難所生活が出来ませんよ。

予想以上に大きい余震があるかもしれない、熊本地震の例を忘れないでください。



つたない文章を書き綴って参りましたが、少しはお役に立てましたでしょうか。

地震発生その時、先ず自分一人で対処することが求められると思います。自分の身の安全が確認できて初めて周囲に気を配り、協力し合ひましょう。

ご存じですか？ 町内に在る震災石碑のこと

真鶴町には震災の記念碑・慰霊碑が3基あり、このうち2基が2022年1月に「自然災害伝承碑」に認定され地理院地図に公開されました。

(<https://www.hakone-geopark.jp/information/denshouhi-manazuru.html>)

龍門寺に所在する「慰霊碑」、まなづる小学校に所在する「震災記念碑」が自然災害伝承碑として認定されています。また認定には至りませんでした貴船神社に「震災復旧記念碑」が在ります。

一度じっくりとご覧になってはいかがでしょうか。

「自然災害伝承碑」とは？

- ◆過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメント。
- ◆これら自然災害伝承碑は、当時の被災状況を伝えると同時に、当時の被災場所に建てられていることが多く、伝承碑を地図を通じて伝えることは、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。（国土地理院HPより）

自然災害伝承碑
碑名：慰霊碑
所在地：龍門寺
1935年建立



伝承内容（※1）

1923年9月1日に発生した関東大震災による津波で、岩尋常高等小学校の職員1名と児童11名が亡くなった。旧岩村を襲った津波の高さは電柱を越えていたとされ、浜辺で遊んでいた子供を襲った。

伝承内容（※1）

1923年9月1日に発生した関東大震災により、本校舎は倒壊し出火した。幸い児童は帰宅した後であったが、残っていた教員のうち4名が焼死し、帰宅した生徒10数名も亡くなった。倒壊した家屋から発生した火災により、旧真鶴村では多くの家屋が消失し、津波による被害も発生した。



自然災害伝承碑
碑名：震災記念碑
所在地：まなづる
小学校
1929年建立

碑名：震災復旧記念碑
所在地：貴船神社
1926年建立



（※1）伝承内容：

自然災害伝承碑登録申請調書 抜粋

（広報部 高瀬 哲夫）

成人学級報告 (前期)

教育体育部会 池田正巳

今年度最初の成人学級は、町立遠藤貝類博物館の栢沼勇魚（かやぬまいさな）学芸員を講師として、真鶴の海の中の様子や生き物を紹介する企画でした。皆さんご存じのように真鶴は岩地区を含め海岸の景色が素晴らしい町ですが、海の中はほとんどの方が知らないと思います。そんな真鶴の海に魅せられて、六十年前に真鶴に移住して来られダイビングセンターを開設された方がいました。日本での草分けでした。当時からスキューバダイビングをはじめ、水中カメラの開発、ウェットスーツの製作・販売をしていた事を記憶しています。真鶴の水中写真を大事に見て、身近の素晴らしい海を大事に守っていかねければと感じました。

前期二回目は、地場産品の栄養素を学ぶ講座でした。普段何気なく食べているみかんやイワシ、サバ等の水産物に、どのような栄養素が含まれているかは考えなかつたと思います。今回、管理栄養士の徳田さんから地場産品を使った手軽で体によい料理方法を紹介して頂きました。

夏季防犯パトロール活動報告

7月21日～8月27日の間に、各単位自治会が2回、防犯指導員が2回、役場防災課が13回、計33回のパトロールを実施しました。

〈報告・感想〉

□ほとんどの自治会が夕方（16時から）パトロールを行いました。

みさき自治会は、夜間、琴が浜・三ツ石などの海辺のほか、パークゴルフ場・城址公園も行いました。

○共通していること…観光客は別として、地元の人を見かけなかつた。

〈課題〉

○子供の見守りを考えるなら、小学校のプール終了時はどうか？
○防犯・交通安全や詐欺被害防止



の観点を考えるのであれば、車でアナウンスしながら回るのはどうか？

○詐欺防止などのチラシをポスティングしながら回るのはどうか？

以上、総務課の五十嵐さんの意見も聞き、広報部会でまとめてみました。

今後のことについては、パトロールの報告書を基に、防犯防災部会で検討し、来年度に活かしていきます。

(広報部)



編集後記

地球温暖化が原因とも云われる異常気象により災害が多発しています。自然豊かな真鶴町は海あり山ありの多様な地形で災害も色々心配です。9月号は関東大震災100年に当たり、防災をメインテーマとしました。防災士の岩本さんからは自分は災害にどう備え対策していくかについて分かり易く教えていただきました。又、環境美化はゴミの問題が中心ですが記事に致しました、自分の家の周りの環境を美しく保つ事は防犯にもつながるそうです。

9月は防災月間です、自治会連合会でも関係各所と連携し自助、共助、公助を基本に取り組みみます。

成人学級や単位自治会の取り組みも自治会ホームページでタイムリーに見られる様になりました、ホームページに意見を反映することも出来ます。

残暑厳しい折、皆様にはくれぐれもご自愛ください。

(広報部 山下嘉邦)

自治会連合会ホームページ
自治会の活動内容を紹介しています。是非ご覧ください。

